

今後の三番瀬再生の進め方

三番瀬については、平成18年度に「三番瀬再生計画基本計画」を策定し、これまで10年以上にわたり3次の事業計画に基づき、三番瀬に特化させる形で事業を進めてきたところです。

28年度は、第3次事業計画の最終年であることから、各事業の進捗状況を把握して、事業計画の評価を策定するとともに、今後の事業の進め方について検討を行いました。

その結果、継続する事業については、県がそれぞれの分野で行う施策の中で実施していくこととし、次期事業計画は策定しないものとします。

については、29年度以降の三番瀬再生の進め方は下記のとおりとします。

1 三番瀬再生基本計画

基本計画は、三番瀬の再生の理念と目標を定めたものであるため、今後も継続していきます。

2 三番瀬再生計画の事業計画

第3次事業計画には、「計画終了時の平成28年度末には、三番瀬再生計画を策定してから10年を経過することも踏まえ、三番瀬に特化した取組に一定の目処をつけ、以降は県がそれぞれの分野で行う施策の中で対応することについて、検討していく」との文言が記載されています。

そこで、全29事業の第1次事業計画からの11年間の取組結果や現状と課題を把握し、今後の方向性や事業の必要性等を検討した結果、終了が2事業、継続が27事業となりました。

継続する27事業については、各分野の施策の中で進めていくことができるため、次期事業計画は策定しないこととします。

3 三番瀬専門家会議

事業計画の推進にあたり、学識経験者から助言等を受けることを目的に設置したもののですが、次期事業計画は策定しない方向であるため、廃止することとします。

なお、今後、専門家の助言を必要とする事項がある場合は、各事業を担当する課が所管する他の会議等で対応することとします。

4 三番瀬ミーティング

地元住民や漁業関係者等から広く意見を聴く場として設置されたものであるため、29年度以降も継続して、開催していきます。

方向性のイメージ図

